

平成26年度 長岡市三島郡特別活動部 活動報告

部長 長谷川 敏

1 研究主題

望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる特別活動の工夫

2 研究の概要

上記の主題に基づき、児童生徒の活動分野を取り上げ、望ましい人間関係を築き、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための教師の指導や支援の在り方について、実践をとおして明らかにしていく。研究を進めるにあたっては、①会員が個人または共同で実践研究を進める。②研修会を開催し、研究協議をとおして研修を深める取組を行う。本年度は、年間2回の研修会を下記のように計画し開催した。

(1) 第1回研修会 期日： 6月18日(水) 会場：長岡市教育センター

内容：講演会 講師：長岡市国際交流センター

センター長 羽賀 友信 様

演題：『望ましい人間関係を形成し、

よりよい生活を築こうとする子どもを育てるには』

(2) 第2回研修会 期日： 9月12日(金) 会場：長岡市立希望が丘小学校

内容：授業研究会(3年生)

授業者：長岡市立希望が丘小学校 片桐 里香 教諭

「マラソン大会に向けて頑張ろう！」

～3年1組31人で日本一になろう！大作戦～

3 研究の実際

(1) 第1回研修会

長岡市国際交流センター長の羽賀様の講演会を行った。羽賀様からは、現在まで紛争地域や被災地等66か国を訪問された経験から、『よりよい生き方を築こうとする子ども』には、以下の3つの力が必要だと感じている。一つ目は、『感じる力』である。二つ目は、『考える力』である。三つ目が、『行動する力』である。教育現場では、『考える力』をどのように身に付けるかを考えることが重要である。そのためには、教師自身がわくわくできる体験をしていくことが大切であると、教えていただいた。大変有意義な講演会となった。



(2) 第2回研修会

第2回の研修会は、長岡市立希望が丘小学校の3年生の授業公開と協議会を実施した。マラソン大会に向けて自分たちで作った「3年1組31人で日本一になろう！大作戦」達成のため、これからの練習方法について話し合う学級会が公開された。走る手が苦手な子どもたちが、自分の思いを語り、学級の仲間たちが、仲間の思いを受け止めて、今の自分にできることを語り合った話し合い活動であった。

参加者からは、国立教育政策研究所から昨年出されたパンフレットをまさに実践で示してもらった学級会であり、一人一人の居場所のある学級づくりと賞賛された。話し合い活動における教師の出場については、授業者からも参加者からも課題が語られた。中学校会員の参加もあり、大変有意義な協議会となった。

4 成果と課題

2回の研修会をとおして研修を深めることができた。本年度も、授業研究会を行うことができた。子どもの活動をとおして協議を深めることができ、大変有意義な研修となった。今後も子どもの活動をとおして学ぶことができる研修を大切にしていきたい。